



## 「在日中国人のドキュメンタリー」フジ系で放映

日本で暮らす中国人の日常を収めた「在日中国人のドキュメンタリー」(全十作)のうちの一作が来月五日夜、フジテレビ系で放映される。元女優の中国人女性性が四年かけて手がけた作品で、昨年十一月に中国で放映され、日本で暮らす中国人の本当の姿に迫っている。と高く評価されている。

(野口東秀)

制作したのは張麗玲さん(三三)。留学先の東京学芸大学大学院修了後の一九九五年、

MEDIA

メディア

## 日本人のやさしさ伝えたい



96年春、東京で在日中国人のビデオ撮影に取り組む張麗玲さん(右)とスタッフ(張麗玲さん提供)

### 元女優の中国人女性制作 現実の姿描く

「日本にいる中国人の夢と現実。公は、家財道具を売り払って。苦しみ、悩み、悲しさ、母親とともに中国・北京から希望を中国に伝え、日中を何父親を追って日本にきた九歳とわして近い国にしたい」との少女だ。「勉強で闘うわ。ドキュメンタリーの制作を必ず一番になる。中国のた指し、フジテレビの協力を得め、民族のためよ。日本はて作り上げた。昔、中国を侵略したでしょ。今回放映されるのは「小さなだから私は」。しかし、言な留学生」という作品。主人 葉がまったくわからず、思わ

ず流れる悔し涙。それでも少女は懸命にクラスに溶け込んでいくが、一家の運命は暗転し……という内容だ。

八九年に来日した張さんも当時、日本語はちんぷんかんぷん。成田空港で出会った中国人中年男性は、家財道具を入れたと思われる大きな荷物を九つも抱え、初めての海外に戸惑っていた。夢を追うために家族と別れ、言葉もわからずに異国に渡る「勇気と情

熱」。いつの日にか、「日本で生活する中国人の本当の姿をカメラで映し出したい」という思いが張さんの心の奥底に深く沈殿した。

「小さな留学生」はフジ系人づてに協力者をたぐり、で五日午後九時から「金曜エタどり着いたのがフジの横山ンタテイメント・こどもの日隆晴プロデューサー(現国際 スペシャル)で放映。

「日本からさびしい思いをして帰る中国人は多い。私も日本が好きになれず何度も帰ろうと思ったこともある。しかし、大事なものは人間同士の触れ合い。本当の日本人のやさしさをひっくり返るため映像で人々に伝えたい」という張さんの願いは、在日中国人が日中双方の「財産」になることだ。

張麗玲さん 一九六七年九月、中国浙江省生まれ。女優として北京で活躍。九八年四月、女優時代に仕事で関係のあった中国中央電視台(CCTV)から依頼され、張さんが勤務していた日本の商社とフジテレビが設立した「大富」(だいにふ、東京都中央区)の社長に。「大富」は、CCTVの海外向け番組をCS放送「スカイパーフェクトTV」で日本で初めて放送する委託放送会社。ドキュメンタリー制作過程で「大富」設立が実現した。「大」は張さんが勤務していた商社「大倉商事」から、「富」はフジテレビから命名した。